
JFEシステムズ株式会社

2007年3月期 決算説明会

2007年4月27日

目次

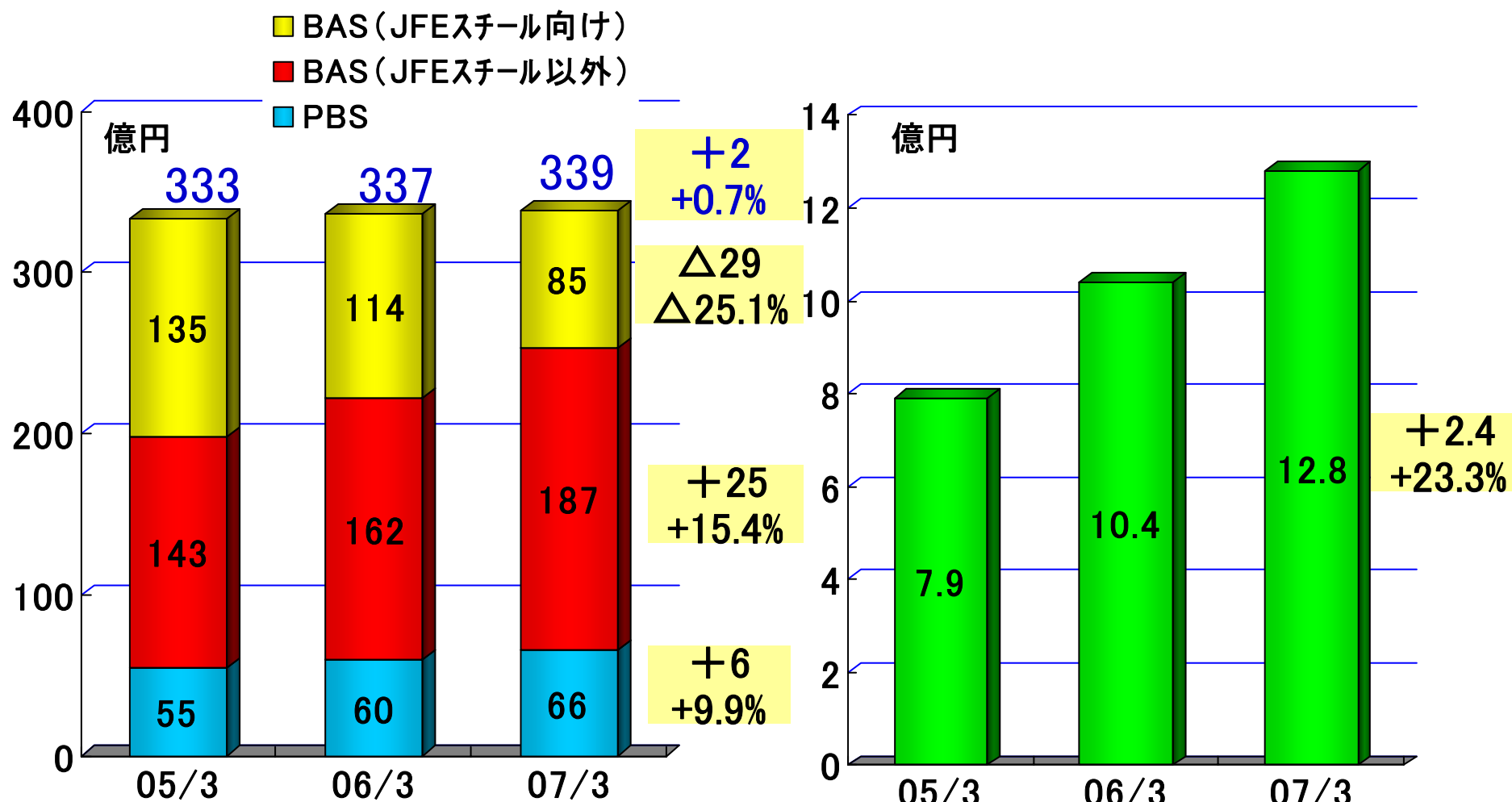
I . 2007年3月期決算概況	P 3
II . 2008年3月期業績見通し	P16
III . 中期事業展開について	P26
(補足資料:単体損益)	P42

I . 2007年3月期 決算概況

2007年3月期の収益実績概要

連結売上高

連結経常利益



2007年3月期の業績 (連結:対見通し)



単位:百万円

	2007年3月期		増減	
	見通し	実績	金額	率
売上高	33,900	33,948	48	0.1%
経常利益	1,200	1,284	85	7.1%
(経常利益率)	3.5%	3.8%	-	-
特別損益	△ 679	△ 625	54	-
当期純利益	240	303	63	26.3%

■売上高、利益とも業績見通し(06.10月発表)を上回った。

2007年3月期の業績 (連結:対前期)



単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	33,725	33,948	223	0.7%
売上総利益	5,310	5,516	207	3.9%
(売上総利益率)	15.7%	16.3%	-	-
営業利益	1,070	1,278	208	19.4%
経常利益	1,042	1,284	242	23.2%
(経常利益率)	3.1%	3.8%	-	-
特別損益	△ 82	△ 625	△ 543	-
当期純利益	491	303	△ 188	△ 38.4%

■大型案件の開発中止による
特別損失の計上

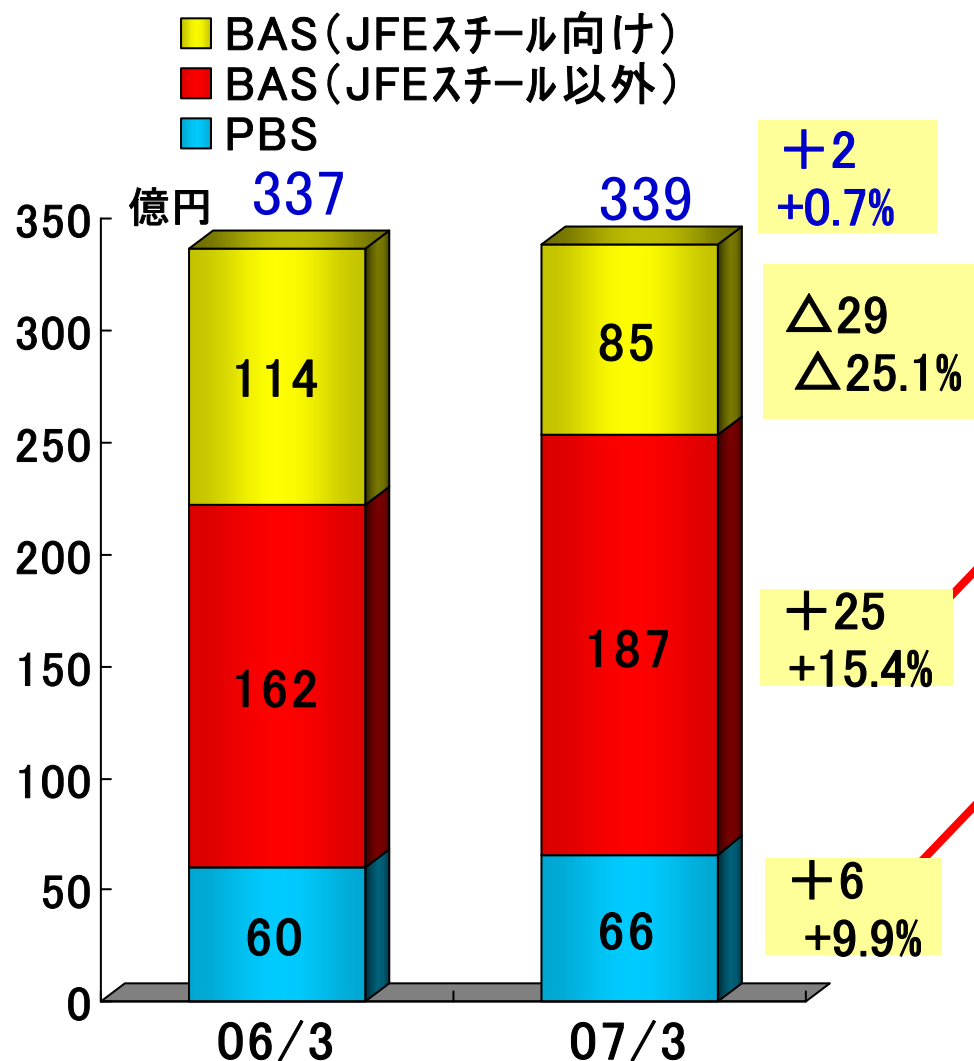
■売上高、経常利益とも前期実績
を上回った。

2007年3月期(連結:対前期)



売上高増減の要因

億円



BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

・JFEグループ向け	+19
・自動車	+7.5
・プロセス	+3
・金融向け	+5
・その他	△3.5
・連結相殺	△6
合計	+25

億円

PBS事業増減

・コンタクトセンターシステム	+2.4
・BI	+1.7
・食品、電子帳票	+1.2
・その他	+0.7
合計	+6

2007年3月期事業別売上総利益 内訳(連結:対前期)



単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	増減	
			金額	率
BAS事業	3,943	4,253	310	7.9%
(売上総利益率)	14.2%	15.6%	-	-
PBS事業	1,367	1,264	△ 103	△7.5%
(売上総利益率)	22.7%	19.1%	-	-
全社計	5,310	5,516	207	3.9%
(売上総利益率)	15.7%	16.3%	-	-

2007年3月期

売上総利益増減の要因(連結:対前期)

百万円	
売上総利益増減要因(◎大幅な増益、○増益、△横ばい、×減益)	影響額
1. BAS事業(+310) ・グループ企業向けは統合リフレッシュ案件により収益が増大◎ ・金融向けは新たにメガバンク顧客が加わり、収益が増大○ ・製造流通他は有力顧客獲得するも利益率改善が課題△ ・JFEスチール向けは統合PJ終了により収益が減少× ・KITはJFE商事向け以外の不振により連結寄与が減少×	+310
2. PBS事業(△103) ・電子帳票、食品は好調を持続△ ・コンタクトセンターシステム事業の一部案件の収益悪化が影響× ・一部商品在庫の評価損計上が影響×	△103
合計	+207

2007年3月期

販管費、営業外損益の増減(連結:対前期)

■ **販売費・一般管理費：横ばい**

(06/3:4,239百万円→07/3:4,238百万円)

■ **営業外損益：+34百万円**

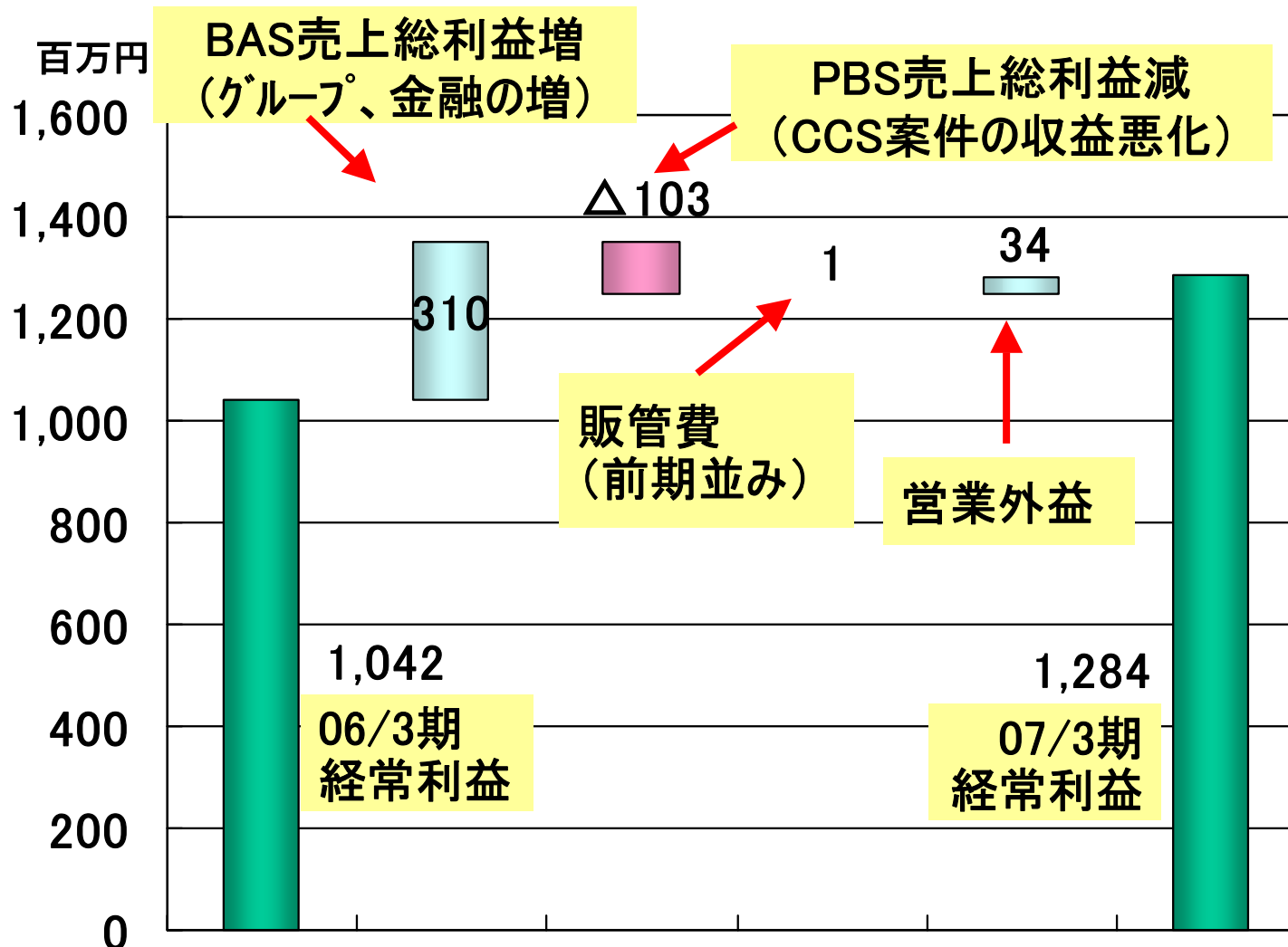
(06/3 : Δ 28百万円→ 07/3 :6百万円)

■ **特別損益： Δ 543百万円**

(06/3 : Δ 82百万円→ 07/3 : Δ 625百万円*1)

*1:大型案件の開発中止、事務所移転により
特損を計上

2007年3月期(連結:対前期) 経常利益増減の要因整理

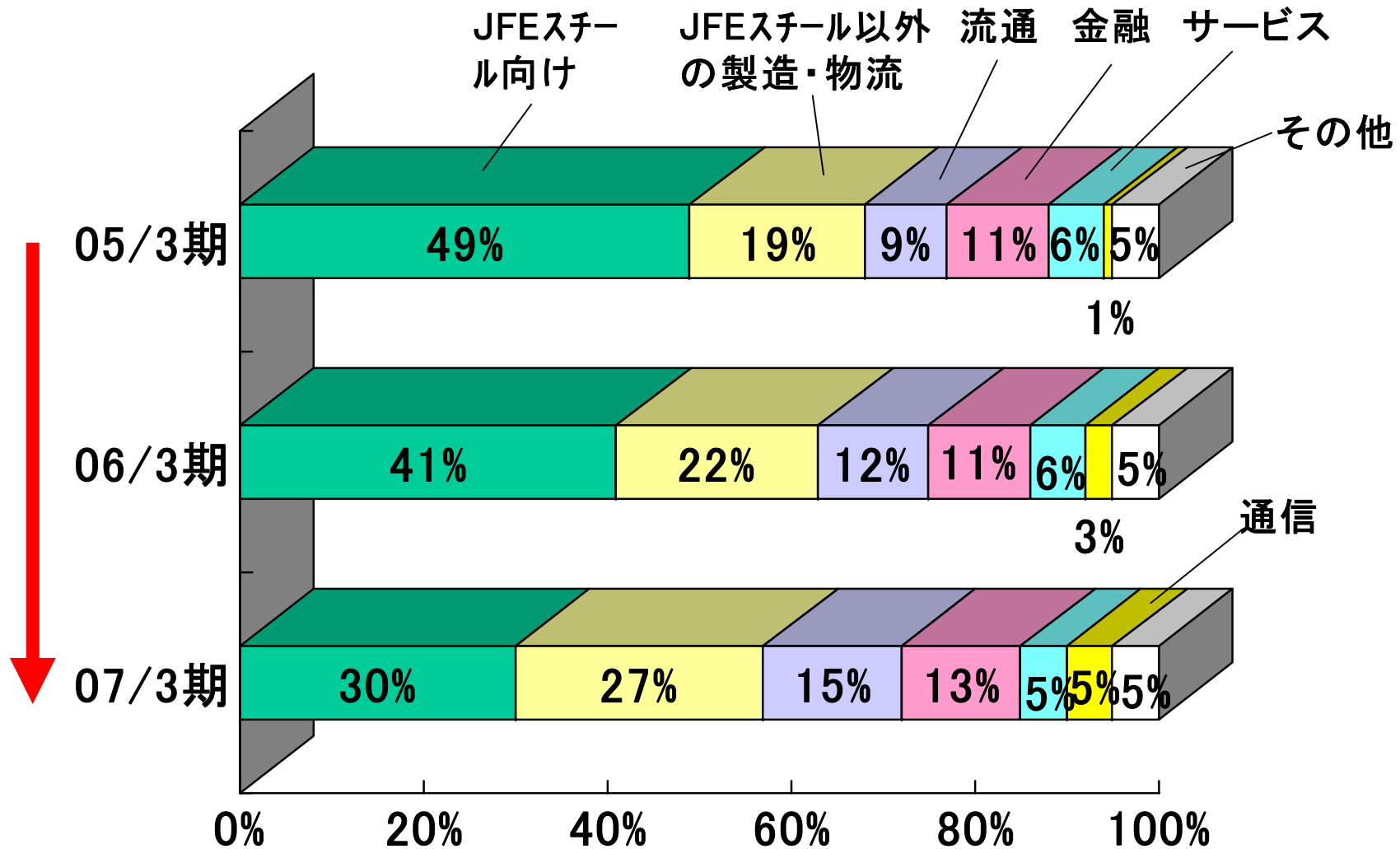


2007年3月期経営指標(連結:対前期)

単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 実績	増減	
			金額	率
借入金	2,100	2,970	870	41.4%
自己資本	7,718	7,801	83	1.1%
総資本	16,340	16,998	658	4.0%
自己資本比率	47.2%	45.9%	—	—
ROE	6.4%	3.9%	—	—
従業員数(人)	1,550	1,538	△ 12	△0.8%
売上高/人	21.8	22.1	0.3	1.4%
経常利益/人	0.67	0.84	0.16	24.2%

2007年3月期 販売先業種構成(単体)

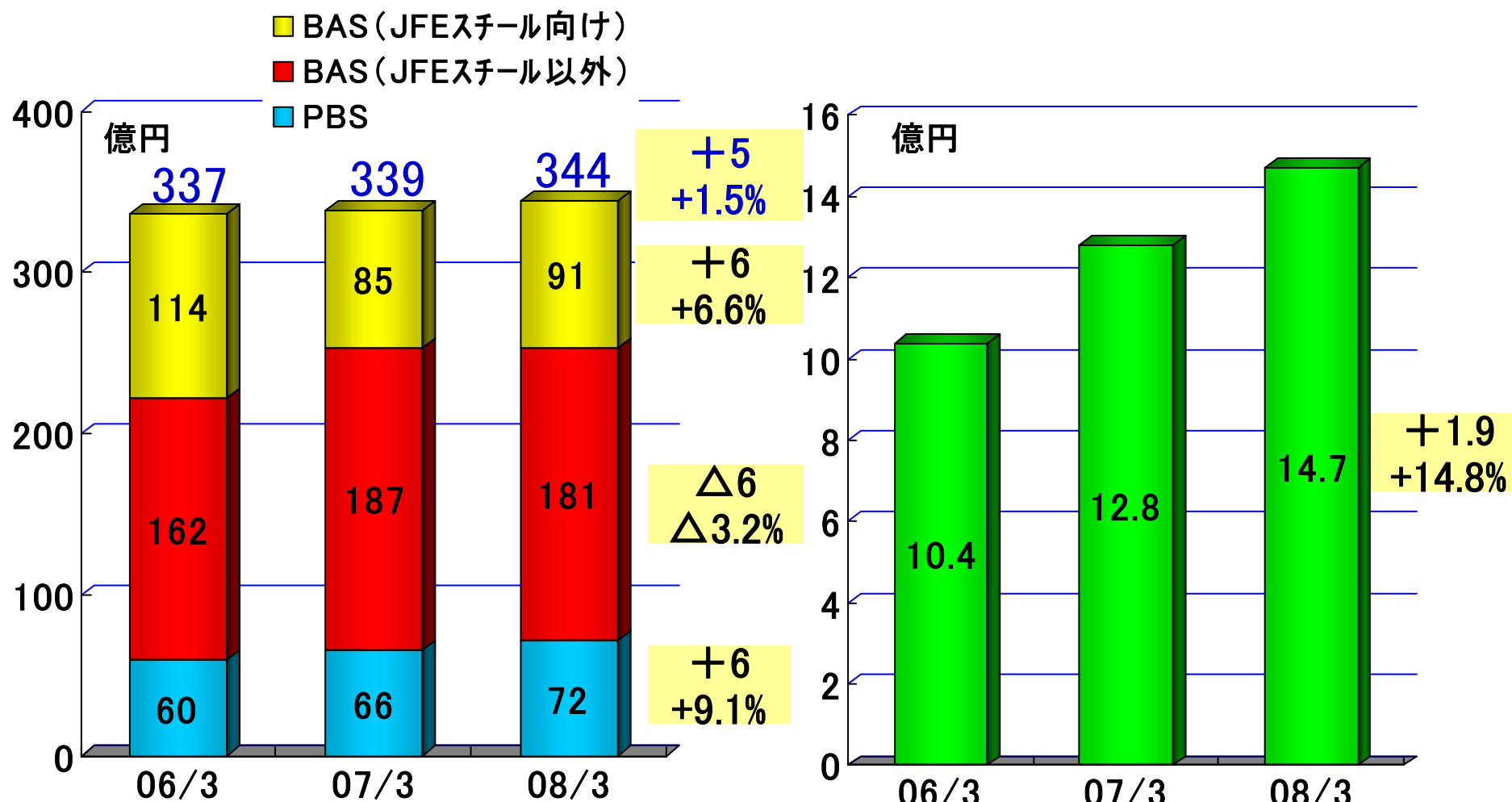


Ⅱ . 2008年3月期 業績見通し

2008年3月期の収益見通し概要

連結売上高

連結経常利益



2008年3月期見通し(連結:対前期)

単位:百万円

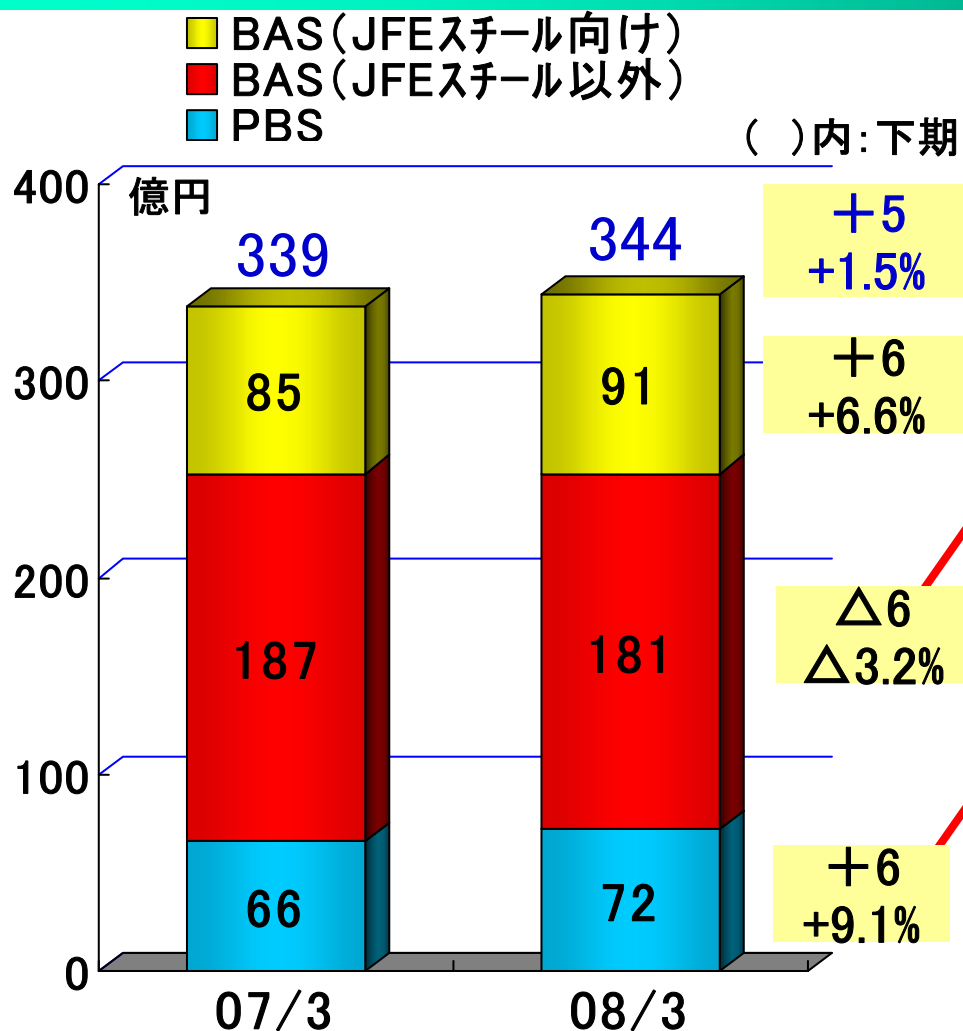
	07/3 実績	08/3 見通し	増減	
			金額	率
売上高	33,948	34,400	452	1.3%
売上総利益	5,516	5,960	443	8.0%
(売上総利益率)	16.3%	17.3%	—	—
営業利益	1,278	1,470	192	15.0%
経常利益	1,284	1,470	186	14.5%
(経常利益率)	3.8%	4.3%	—	—
特別損益	△625	0	625	—
当期純利益	303	810	507	167.3%
EPS(円/株)	3,858	10,315	6,457	167.3%

2008年3月期(連結)



売上高見通し増減の要因

億円



BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

・金融	+ 6
・自動車	+ 5
・製造流通等	+ 7
・JFEグループ他	△32
・KIT寄与	+ 8

合計 △ 6

億円

PBS事業増減

・食品向けシステム	+ 4
・電子帳票システム	+ 2
・EC	+ 1
・CCS他	△ 1

合計 + 6

2007年3月期見通し事業別売上総利益

内訳(連結:対前期)

単位:百万円

	07/3期 実績	08/3期 見通し	増減	
			金額	率
BAS事業	4,253	4,250	△ 3	△0.1%
(売上総利益率)	15.6%	15.6%	—	—
PBS事業	1,264	1,710	446	35.3%
(売上総利益率)	19.1%	23.8%	—	—
全社計	5,516	5,960	443	8.0%
(売上総利益率)	16.3%	17.3%	—	—

2008年3月期見通し

売上総利益増減の要因(連結:対前期)

百万円

売上総利益増減要因(◎大幅な増益、○増益、△横ばい、×減益)	影響額
1. BAS事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車向けを中心とした重点顧客売上の拡大と利益率改善◎ ・金融向け新規有力顧客の獲得○ ・業務系独自ソリューションの展開／拡大◎ ・JFEスチール製鉄所向け戦略的投資案件への対応○ ・KITの収益改善○ ・JFEグループ向けは統合案件の終了により大幅な減益見込み×× 	△3
2. PBS事業 <ul style="list-style-type: none"> ・食品は新規展開(流通、中小向け展開)による収益拡大を狙う◎ ・電子帳票はJ-Sox対応新製品による収益拡大を狙う○ ・コンタクトセンターシステムは重点顧客案件の定着と品質向上により損益改善を果たす○ 	+446
合計	+443

2008年3月期見通し



販管費、特別損益の増減(連結:対前期)

■ 販売費・一般管理費：252百万円増加

(07/3:4,238百万円→08/3:4,490百万円)

- ・営業効率化△84百万円

- ・研究開発、人材育成等+336百万円

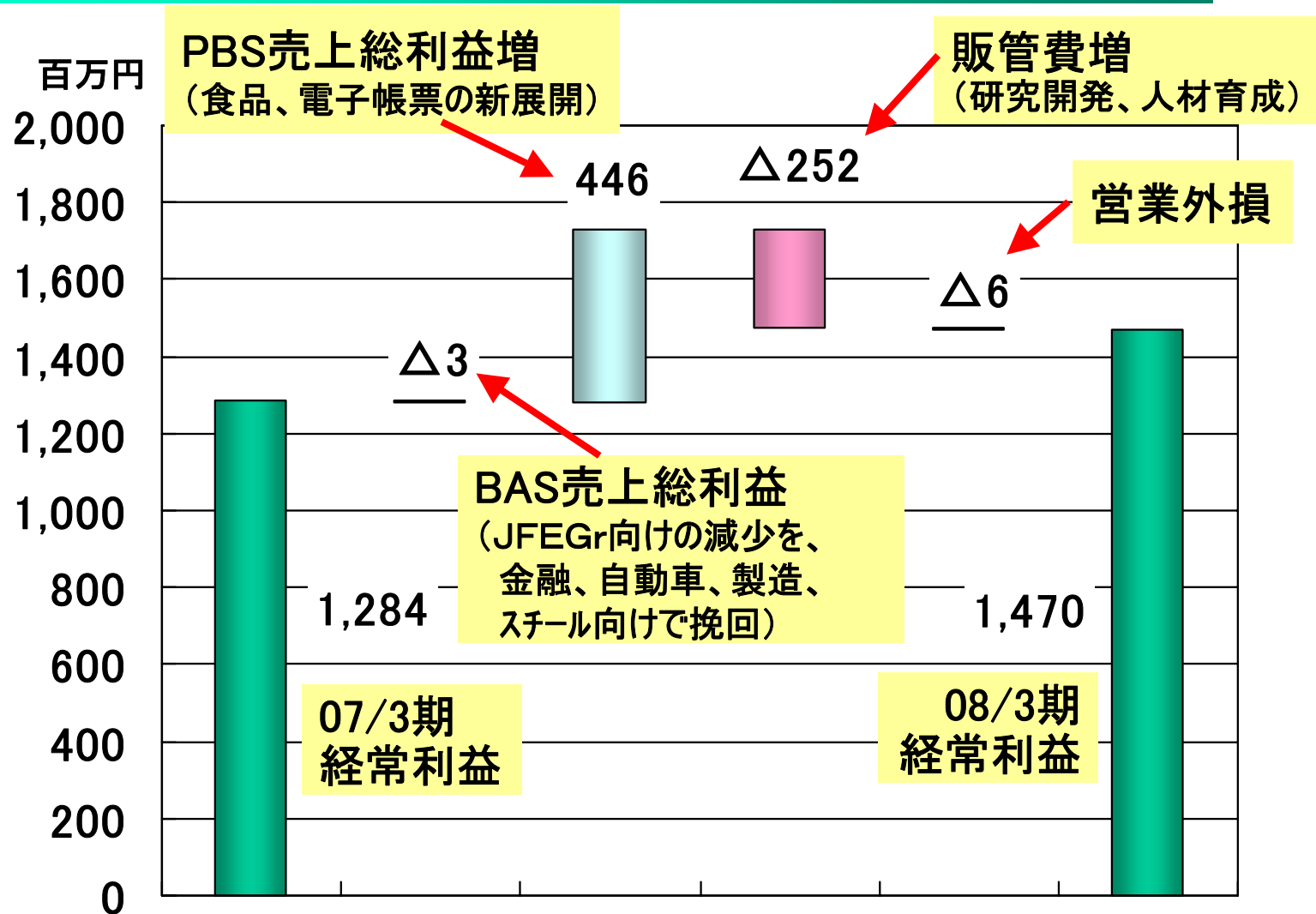
■ 特別損益：625百万円改善

(07/3 : △625百万円*1 → 08/3 : 0百万円)

*1:大型案件の開発中止、事務所移転により
特損を計上

2008年3月期見通し(連結)

経常利益増減の要因整理

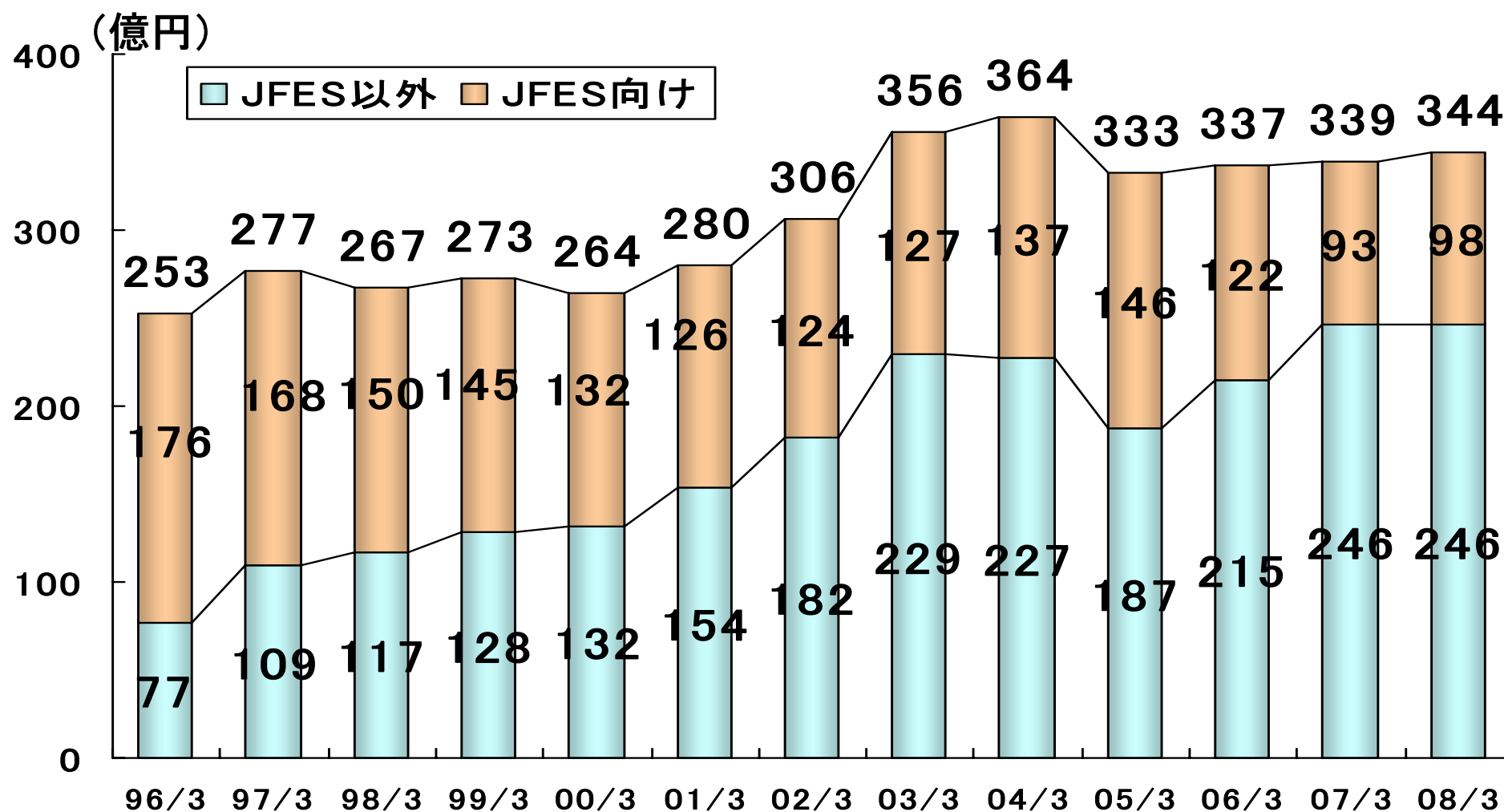


2008年3月期見通し経営指標(連結:対前期)

単位:百万円

	07/3期 実績	08/3期 見通し	増減	
			金額	率
借入金	2,970	2,500	△ 470	△ 15.8%
自己資本	7,801	8,640	839	10.8%
総資本	16,998	17,692	694	4.1%
自己資本比率	45.9%	47.5%	—	—
ROE	3.9%	9.6%	—	—
従業員数(人)	1,538	1,558	20	1.3%
売上高/人	22.1	22.1	0.0	0.0%
経常利益/人	0.84	0.94	0.10	11.9%

売上高の推移

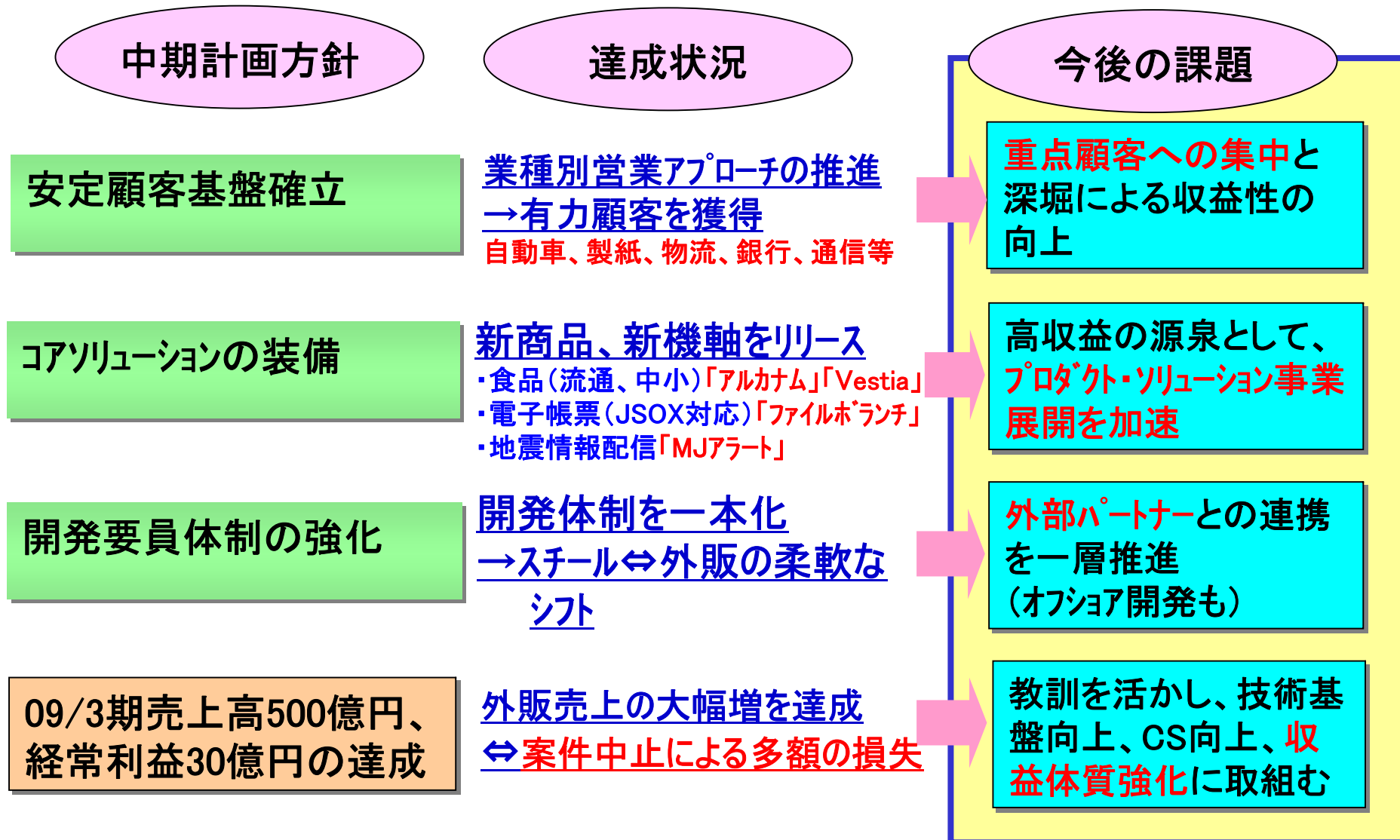


(注) '03/3期以降は連結売上高を記載

(見通し)

Ⅲ. 中期事業展開について

中期計画(07/3期～09/3期)課題の推進状況



事業を取り巻く環境

不採算PJリスクの深刻化

- 近年、技術力に定評のあった有力SIベンダーでも相次いで多額の不採算案件が発生
- 情報システムトラブル／停止による影響が社会問題化（東証、JR etc.）
 - 技術面のみならず、契約のあり方、業界構造等、業界全体の課題としてJISA（情報サービス産業協会）も対応を検討中。

M&Aリスクの拡大

- M&Aで業容を拡大してきた有力ベンダーが買収企業の業績不振により連結損益を悪化させるケースが目立ってきている。
- 超優良企業と認知されていた新興上場企業が不正取引発覚により急遽廃業に至るケースも出てきている。
 - M&A先の選定にはより慎重な姿勢で臨む必要がある。

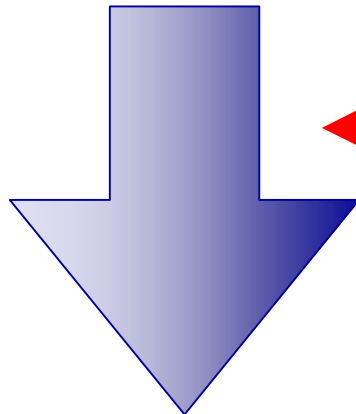
中期事業方針の見直し

＜中期事業方針＞

規模拡大による業界内ポジションの確立

売上高 (09/3) 500億円

経常利益 (09/3) 30億円



■開発中止PJの教訓

技術／営業面(CS)での中長
期的な取組みが必要

■事業を取巻く環境

不採算PJリスク

M&Aリスク

→ このまま急速な業容拡大を狙うことは、不採算
案件の発生等業績悪化のリスクを生む恐れがある。

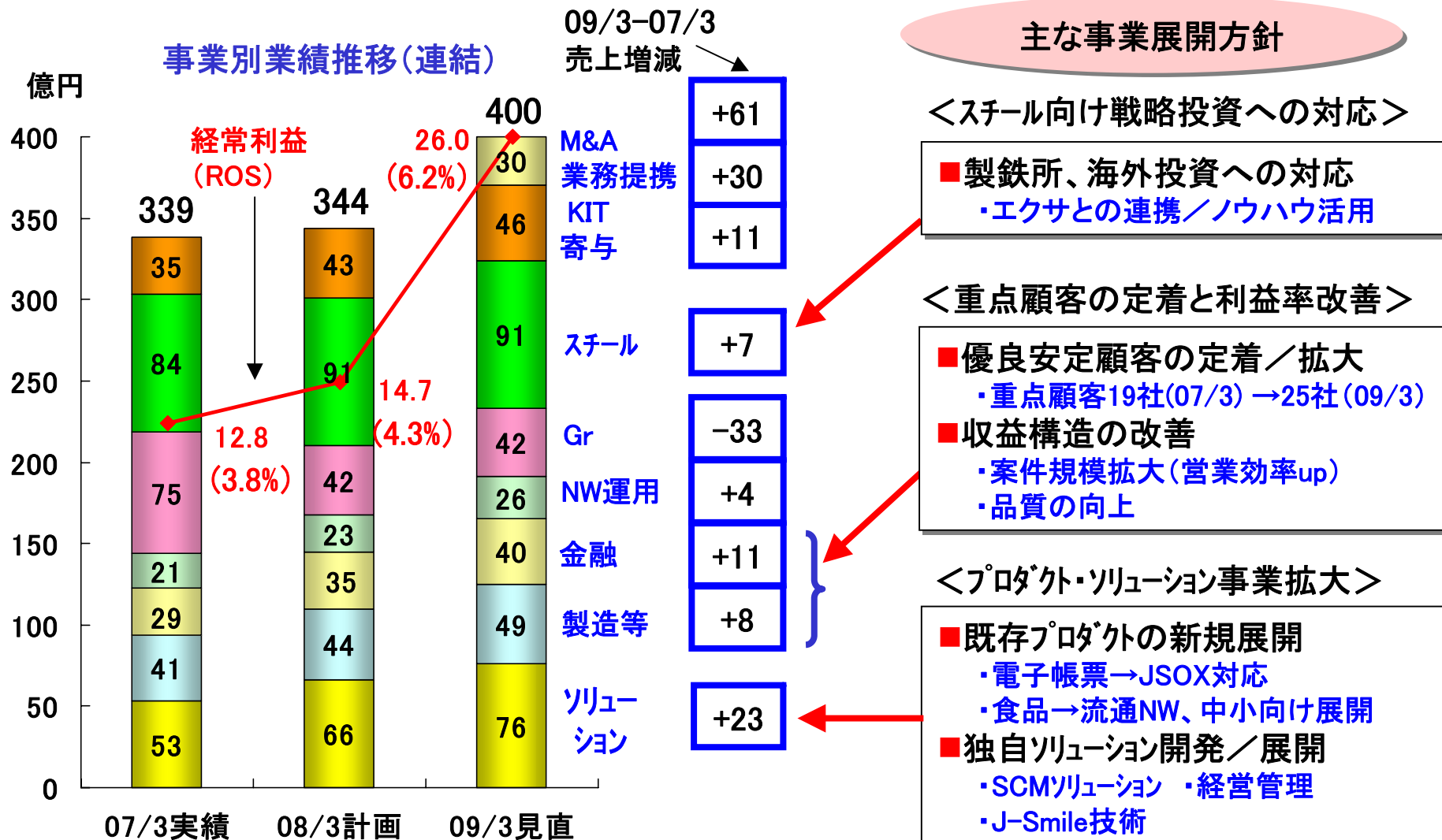
＜中期事業方針の見直し＞

収益体質の強化による利益率改善を優先。

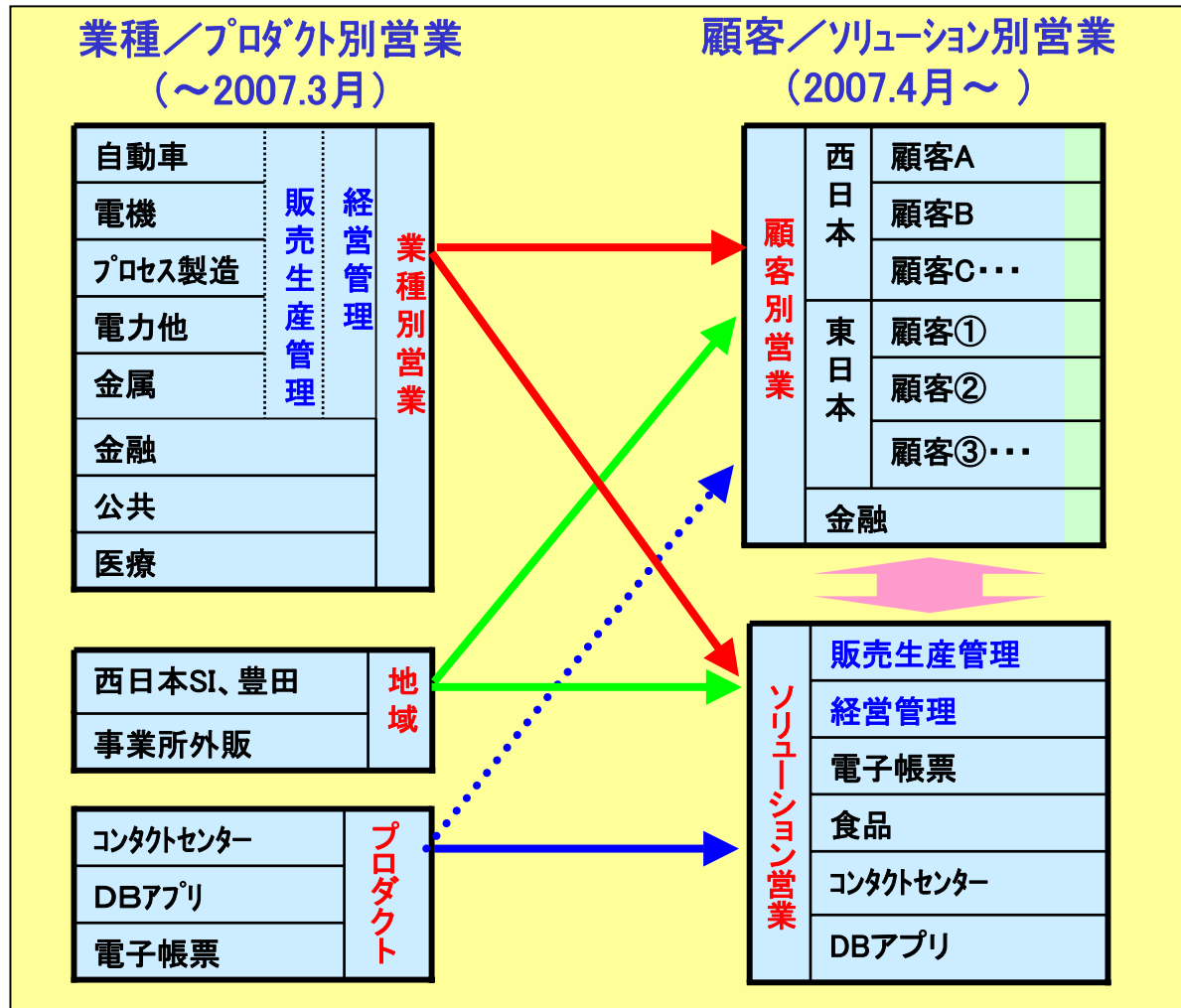
売上高 (09/3) 400億円程度

ROS (09/3) 6～7%

事業別中期収益目標



事業方針に沿った営業体制の再編



<顧客別営業>

重点顧客への集中と
深堀による収益力up

<ソリューション別営業>

高収益の源泉として
ソリューション展開を加速

優良顧客の定着／開拓①

「製造業向けターゲットの集中と深堀り」

売上高 (07/3) 41億円

→ (08/3) 44億円 → (09/3) 49億円

< 07/3期 1st STEP >

業種横断アプローチ

業種別営業	自動車
	電機
	プロセス他
	金属

成果

有力顧客
拡大19社

課題

戦略的受注による
粗利率低下

ローラー営業による
販売費負担大

< 08/3期～09/3期 2nd STEP >

重点顧客別アプローチ

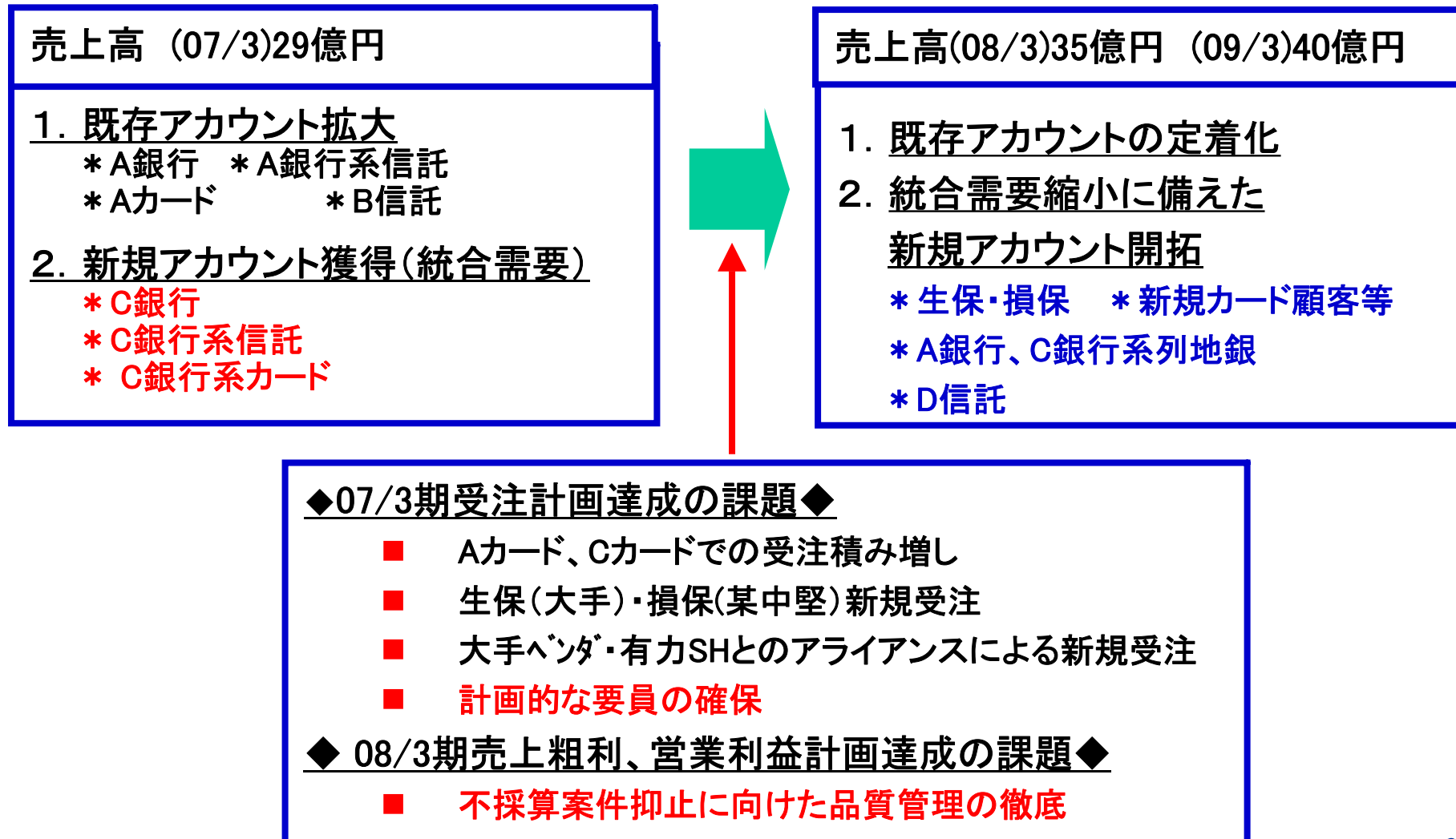
		既存	1stStep	2ndStep
顧客別営業	自動車	A社	B社、C社、 D社(建機)	左記拡大 + E社、F社、 G社(建機)
	その他 製造 物流	H社 (電機) I社 (金属)	J社(製紙)、 K社(物 流)、L社 (電機)	左記拡大 + M社(電機)、 N社(金属)
	サービ ス 他	O社 等	P社(通信) 等	左記拡大

重点アプローチによる
案件規模拡大

営業効率化による
利益率改善

優良顧客の定着／開拓②

「金融向けアカウント顧客の拡大」



独自ソリューションの開発と展開①(概要)

売上高 (07/3) 53億円 → (08/3) 66億円 → (09/3) 76億円

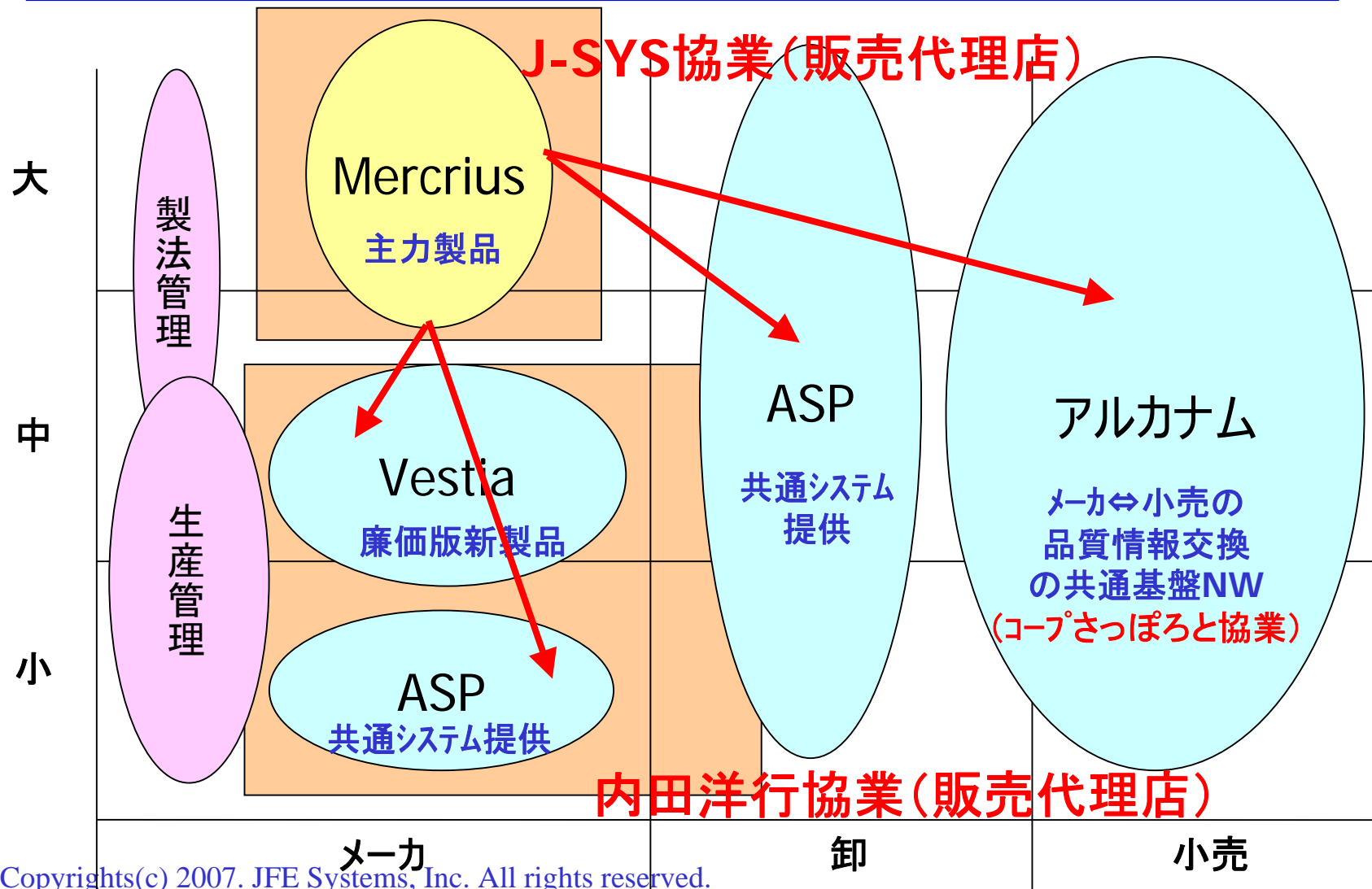
■新ソリューション開発に向けて研究開発予算2億円メドに増額。

ゾーン		当社商品	今後の方針	競合
販売 生産 管理	生産計画	RapidResponse◎	} ◆:統合SCMソリューション ◆:Jsmile技術のメニュー化	各種ERP
	生産管理	AFW、管理上手●		
	企業間取引	Gentran:S等◎		
	CRM	SoftDialer ●		Mosaix
経営 管理	原価・会計	J-COREs ●	} ◆:統合経営管理ソリューション	各種ERP
	人事給与	J-Forpe ●		カンパニー、ERP
品質 /JSOX	電子帳票	FiBridge ●	} ◆:Jsox対応「FileVolante」	富士通
	データ分析	BusinessObjects ◎		
	品質管理	Mercrus ●	◆:中小展開「Vestia」 :流通展開「アルカナム」	eBase
運用 (BCM)	ICT	JGranzNIC ●		
	災害対策	MJ@lert		

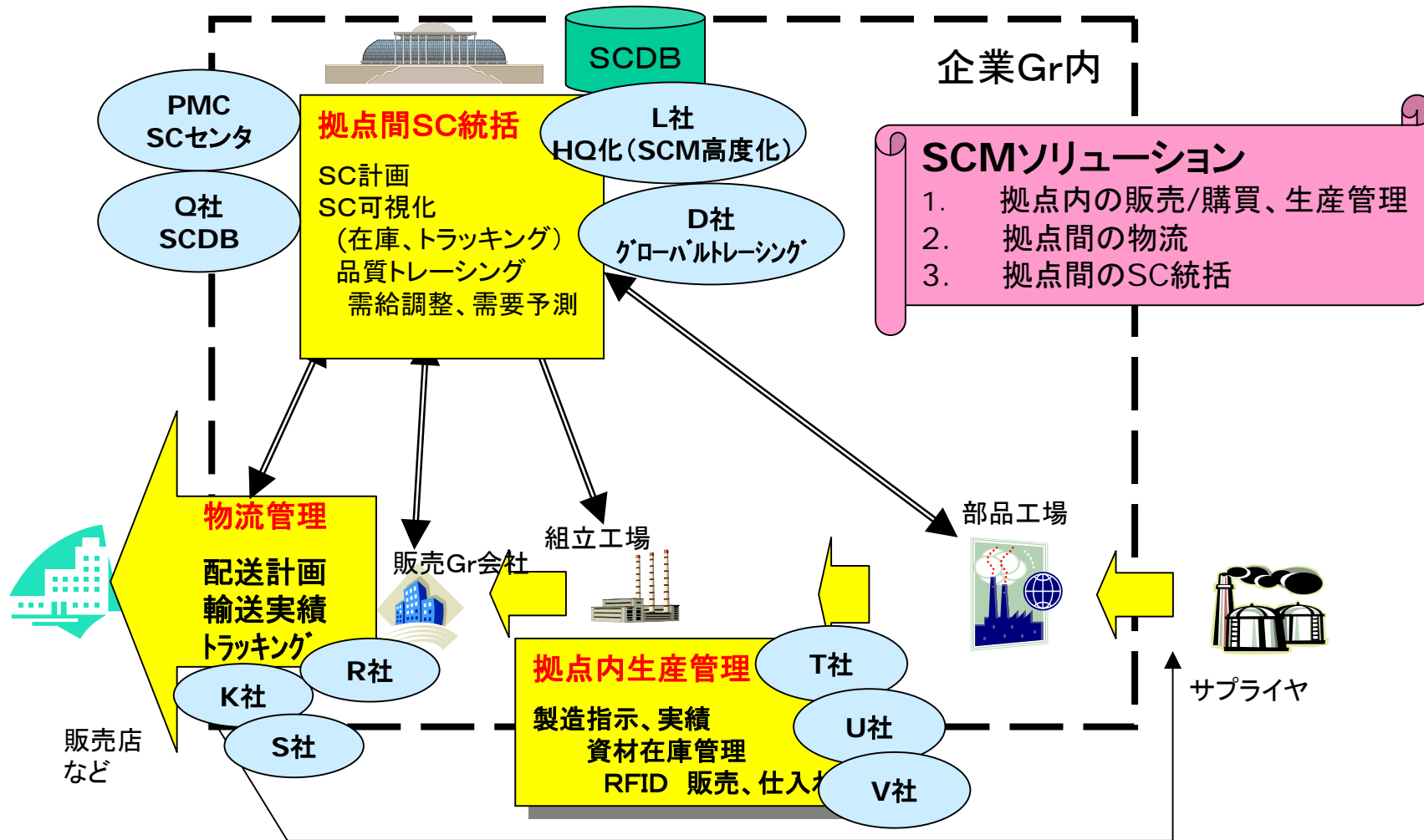
凡例 ●:自社開発 ◎:海外商品導入 ◆:新規開発予定 ◆:既存商品新規展開

独自ソリューションの開発と展開② 「食品向けプロダクトの展開」

売上高 (07/3)6億円 → (08/3)10億円 →(09/3)14億円



独自ソリューションの開発と展開③ 「統合SCMソリューション」



販売先、仕入れ元との連携はスコープ内

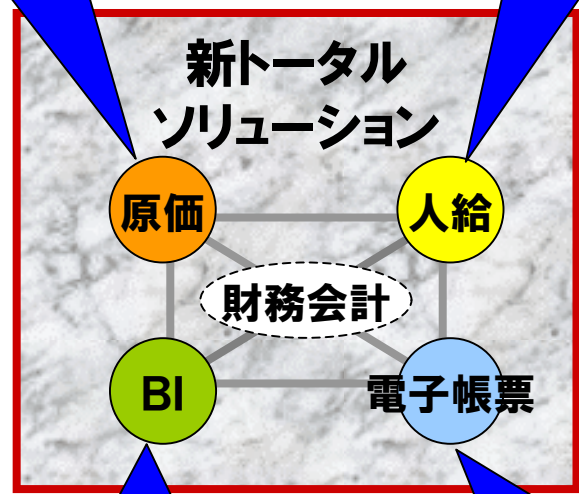
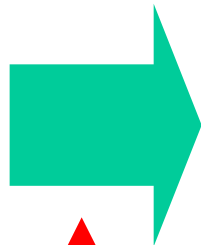
独自ソリューションの開発と展開④ 「統合経営管理ソリューション」

当社オリジナルソリューション
の見極め・確立



プロセス製造向け
等の原価計算
機能の充実

勤惰管理、届出
申請等の機能
の充実



収益性向上に繋がる
情報戦略支援

社内・外環境変化へ
の柔軟な対応

ERP以上の
「見える化」実現

分析→見える化

帳票保管厳格化
→J-Sox対応

自社商品の有
機的な統合

+

既存ERPへの
不満に対処

- <ERPへの不満>
- ブラックボックス化されており、「見える化」が難しい
 - 会社固有で必要な機能、環境変化に対応した機能が足りない
ex. 経営情報、労務管理

独自ソリューションの開発と展開⑤

「IT資産統合運用サービス JgranzNIC」

- 「BCMに有効なネットワーク運用サービスを適正価格で代行」
- 特徴 : ①鉄での365日24h連続運用のノウハウの活用、②ディザスタリカバリに対応した堅牢なインフラ
③SLAに基づく高品質なサービスの提供

<サービスメニュー>

ネットワークヘルプデスク
ネットワークシステムに関わる障害・問い合わせ・申請・広報等

障害管理
ネットワークシステムの障害監視、障害発生時の通知、切り分け・対処・復旧

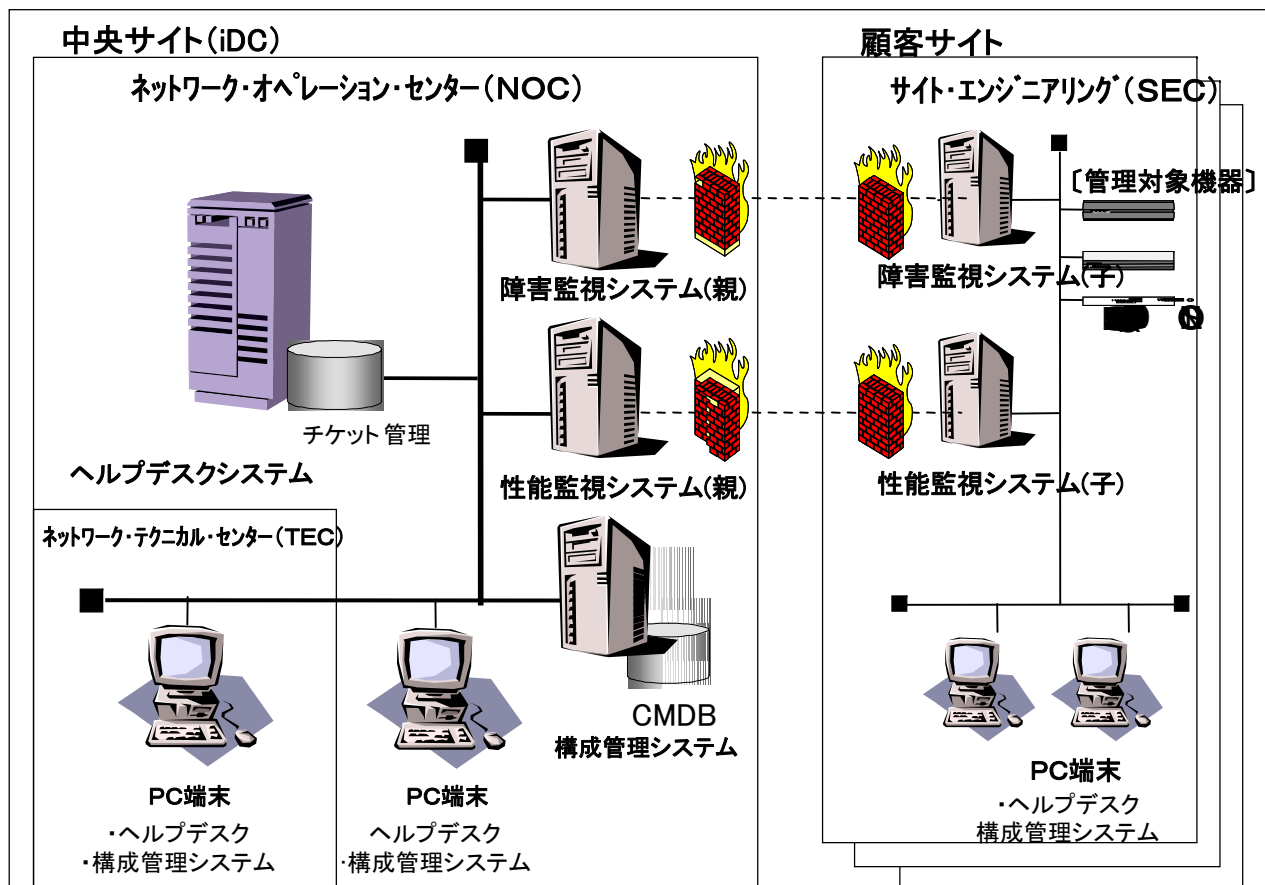
性能管理
ネットワークシステムの性能監視、異常時の通知、切り分け・対処・復旧

構成管理
ネットワークの構成情報(配線・機器)一元管理

設定管理
ネットワーク機器の設定情報を世代単位に保管

セキュリティ管理
ネットワークのセキュリティアセスメント、改善。不正アクセス監視

<システム構成>



JFEスチール、グループ企業向け事業方針

JFEスチールGrにおける中期IT戦略への対応

JFEスチール向け

製鉄所向けを中心とした戦略投資
への対応 生産管理、品質管理、物流管理

スチール**海外戦略**へのITでの貢献
中国／広州冷延、韓国／東国製鋼、現代製鉄

- 経営に貢献する価値実現を提案
- 業種共通、工場共通システムの構築
→ **上流フェーズ要員の確保が必要**

グループ企業向け

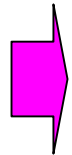
大型統合案件の完遂
→ アウトソーシング体制への移行
→ 蓄積した技術・ノウハウの活用

エクサとの連携強化

J-Smile、グループ向け
開発で培った技術
／要員の活用

M&Aおよび業務提携の活動方針

1. 過半数出資による統合・買収 (M&A)の方針



製造業系の技術・ソリューションを保有する企業を対象に検討

2. 少数出資または資本関係のない業務提携の方針

協業先	07/3期の実績	08/3期以降の方針
エプソンアヴァンス	・自動車向け案件 受注貢献	・ エプソンおよびエプソンGrへの展開 (エプソン、エプソンロジスティクス、エプソン販売等) ・自動車向け受注拡大
日揮情報システム (J-SYS)	・Mercriusの共同 受注	・プロセス製造系相互顧客攻略 ・商品相互拡販 Mercrius他(当社) ⇔ e-Plantia他(日揮)
富士通	・製造業案件 共同受注	・ プロセス向けERP Glovia-C1開発案件推進 ・製造系顧客攻略 ・金融分野(カード等)での案件受注

オフショア開発の取り組み

事業拡大戦略上重要なテーマであり、従来のコストメリット最優先のスポット的な発注ではなく、

- ・外部リソースの活用(安定リソース供給源として)
- ・海外案件(スチール, SCM案件)での現地顧客対応の充実化

実績有り
模索中

を狙いとして拡大活動を実施中。
 オフショアは、一括発注の海外版と考え
 「一括発注の標準化+海外案件対応
 時のノウハウを整理し展開を加速させる。

国内パートナー

約200社

マネージ社 (中国上海)

キャセイ (中国深セン)

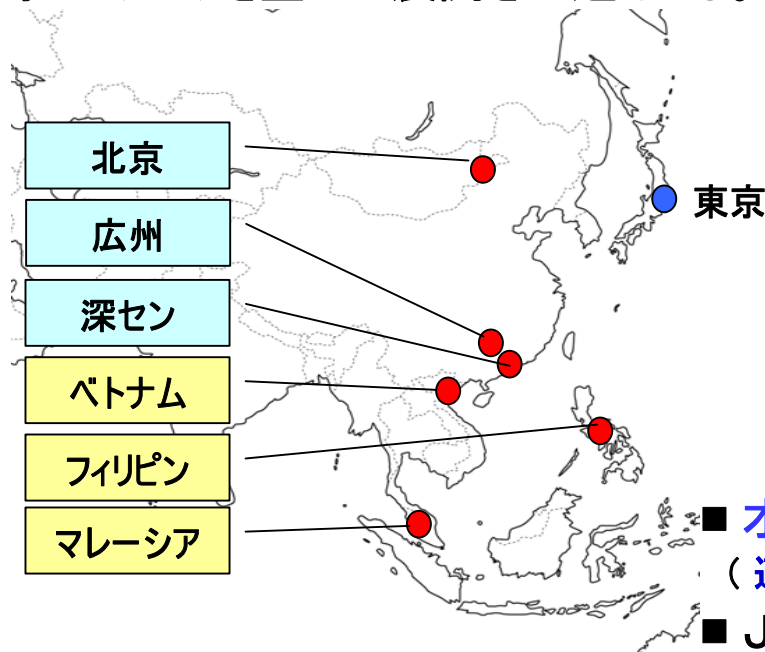
TBK (中国北京)

J-SYS Philippines(フィリピン)

アヴァシス ベトナム (ベトナム)

富士通東南アジア各社
マレーシア, ベトナム, フィリピン

海外パートナー



- オフショアの標準化, 過去のノウハウの整理を実施中
(適用条件, 進捗・品質管理, 仕様伝達要領, コミュニケーション要領等)
- J-SYSフィリピンより, 現在ブリッジSE2名千葉常駐中

補足データ(単体損益)

2007年3月期の業績 (単体:対見通し)



単位:百万円

	見通し	実績	対見通し増減	
			金額	率
売上高	30,100	30,477	377	1.3%
経常利益	1,180	1,247	67	5.7%
(経常利益率)	3.9%	4.1%	-	-
特別損益	△ 679	△ 629	50	-
当期純利益	270	313	43	15.9%

2007年3月期の業績 (単体:対前期)



単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	29,490	30,477	987	3.3%
売上総利益	4,348	4,712	364	8.4%
(売上総利益率)	14.7%	15.5%	—	—
営業利益	923	1,233	310	33.5%
経常利益	903	1,247	344	38.0%
(経常利益率)	3.1%	4.1%	—	—
特別損益	△ 77	△ 629	△ 552	—
当期純利益	462	313	△ 149	△32.3%

2007年3月期



事業別売上内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	23,462	23,857	395	1.7%
(うちJFES向け)	11,182	8,446	△ 2,736	△24.5%
(うちJFES以外)	12,280	15,411	3,131	25.5%
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	6,027	6,620	593	9.8%
全社計	29,490	30,477	987	3.3%

2007年3月期



事業別売上総利益内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	2,980	3,447	467	15.7%
(売上総利益率)	12.7%	14.4%	—	—
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	1,367	1,264	△103	△7.5%
(売上総利益率)	22.7%	19.1%	—	—
全社計	4,348	4,712	364	8.4%
(売上総利益率)	14.7%	15.5%	—	—

2007年3月期

販管費、営業外損益の増減(単体:対前期)

- **販売費・一般管理費：+55百万円**
(06/3:3,424百万円→07/3:3,479百万円)
- **営業外損益：+33百万円**
(06/3 :△19百万円→ 07/3 :14百万円)
- **特別損益：△552百万円**
(06/3 :△77百万円→ 07/3 :△629百万円 *)
* 大型案件の開発中止により特損を計上

2007年3月期経営指標(単体:対前期)

単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 実績	増減	
			金額	率
借入金	1,900	2,970	1,070	56.3%
自己資本	7,576	7,670	94	1.2%
総資本	14,425	15,291	866	6.0%
自己資本比率	52.5%	50.2%	—	—
ROE	6.1%	4.1%	—	—
従業員数(人)	1,330	1,313	△ 17	△ 1.3%
売上高/人	22.2	23.2	1.0	4.7%
経常利益/人	0.68	0.95	0.27	39.8%

2008年3月期見通し(単体:対前期)

単位:百万円

	07/3 実績	08/3 見通し	増減	
			金額	率
売上高	30,477	30,100	△ 377	△1.2%
売上総利益	4,712	5,110	398	8.4%
(売上総利益率)	15.5%	17.0%	—	—
営業利益	1,233	1,400	167	13.5%
経常利益	1,247	1,400	153	12.3%
(経常利益率)	4.1%	4.7%	—	—
特別損益	△629	0	629	—
当期純利益	313	800	487	155.6%
EPS(円/株)	3,988	10,187	6,199	155.6%

2008年3月期見通し 事業別売上内訳(単体:対前期)



単位:百万円

	07/3 実績	08/3 見通し	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	23,857	22,930	△ 927	△3.9%
(うちJFES向け)	8,446	9,010	564	6.7%
(うちJFES以外)	15,411	13,920	△ 1,491	△9.7%
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	6,620	7,170	550	8.3%
全社計	30,477	30,100	△ 377	△1.2%

2008年3月期見通し



事業別売上総利益内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	07/3 実績	08/3 見通し	増減	
			金額	率
BAS事業	3,447	3,400	△ 47	△1.4%
(売上総利益率)	14.4%	14.8%	—	—
PBS事業	1,264	1,710	446	35.3%
(売上総利益率)	19.1%	23.8%	—	—
全社計	4,712	5,110	398	8.4%
(売上総利益率)	15.5%	17.0%	—	—

2008年3月期見通し



販管費、特別損益の増減(単体:対前期)

■販売費・一般管理費：+239百万円

(07/3:3,479百万円→08/3:3,718百万円*1)

*1:研究開発費、人材育成費等

■特別損益：+629百万円

(07/3:△629百万円*2 →08/3:0百万円)

*2:大型案件開発中止による損失および事務所移転費用の増加

2008年3月期見通し経営指標(単体:対前期)

単位:百万円

	07/3期 実績	08/3期 見通し	増減	
			金額	率
借入金	2,970	2,500	△ 470	△ 15.8%
自己資本	7,670	8,207	537	7.0%
総資本	15,291	16,134	843	5.5%
自己資本比率	50.2%	50.9%	—	—
ROE	4.1%	9.7%	—	—
従業員数(人)	1,313	1,333	20	1.5%
売上高/人	23.2	22.6	△ 0.6	△ 2.6%
経常利益/人	0.95	1.05	0.10	10.5%

連結子会社KITシステムズの業績

<会社概要>

- ・資本金:2億円
- ・設立:1986年10月
- ・株主:当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長:船谷 幹夫 (会長:岩橋 誠)
- ・従業員数225名(2007年3月末)
- ・事業内容:情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

<業績>

単位:百万円

	06/3 実績	07/3 実績	増減	07/3 実績	08/3 見通し	増減
売上高	7,116	7,359	243	7,359	7,558	199
経常利益	165	74	△91	74	84	10
当期純利益	91	38	△53	38	42	4

- ・2007年3月期はJFE商事向け以外の収益悪化により、経常利益が減少。
- ・2008年3月期は、JFEシステムズとの連携強化およびコストダウンにより収益改善を目指す。

JFEシステムズ株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。